

## 地元活性化探究プロジェクト

~Explore our local community and ourselves~

### 大正大学浦崎太郎教授による「ふるさと講演会」

Finally

### ~自分らしく地域に参加する~

が開催されました。

実は、今回の大正大学浦崎太郎教授による「ふるさと講演会」は、4月の段階で企画していましたが、新型コロナウイルス感染症による休校で延期となっておりました。その後、7月28日の予定で再度日程調整にこぎつけ当日を待ちましたが、なんと！！大雨警報によって延期せざるを得ませんでした。そして今回、念願かない、夏休み前日の8月7日（金）、オンラインにて講演会実施されました。

**オンラインで行われました。**

**音声、画像の乱れはなく、快適に受講することが  
出来ました。**

本校は昨年度に引き続き、岐阜県の進める「地域課題探究型学習推進事業」の指定校であり、2年目の年に当たります。初年度の令和元年度は地域を舞台とした生徒による課題解決型学習で2つの成功事例がありました。一つは中山道中津川宿の広報活動に力を入れた、「中山道中津川宿紹介し隊」。もう一つが、今回の講演でも紹介の頂いた「付知Lovers」です。この「付知Lovers」の活動は、今回講演依頼した浦崎教授が教鞭をとる大正大学地域創生学部の学生さんと地域の大人との協働のもとに行われたプロジェクトです。



**最初に、中津高校や吉城高校など全国の高校生の取り組みを紹介していただいた後、大正大学地域創生学部の学生による地域実習での取り組みについても、動画などを交え詳しく説明いただきました。**



◆講演終了後、生徒への振り返りとしてとったアンケート結果をお伝えします。

3. 今回、浦崎教授の講話内容をどの程度理解しましたか。

[詳細](#)

● ほとんど理解できた	133
● 少し難しかったが、だいたい理解…	214
● あまりよく理解できなかった	8



当事者意識をもって講演会を聞く  
ことができた生徒が多いですね😊

4. 今回の講話内容をどの程度自分事としてとらえていますか

[詳細](#)

● とても	134
● ふつう	212
● あまりできていない	9



**メモをしっかりと、真剣に聞く  
ことができました。**





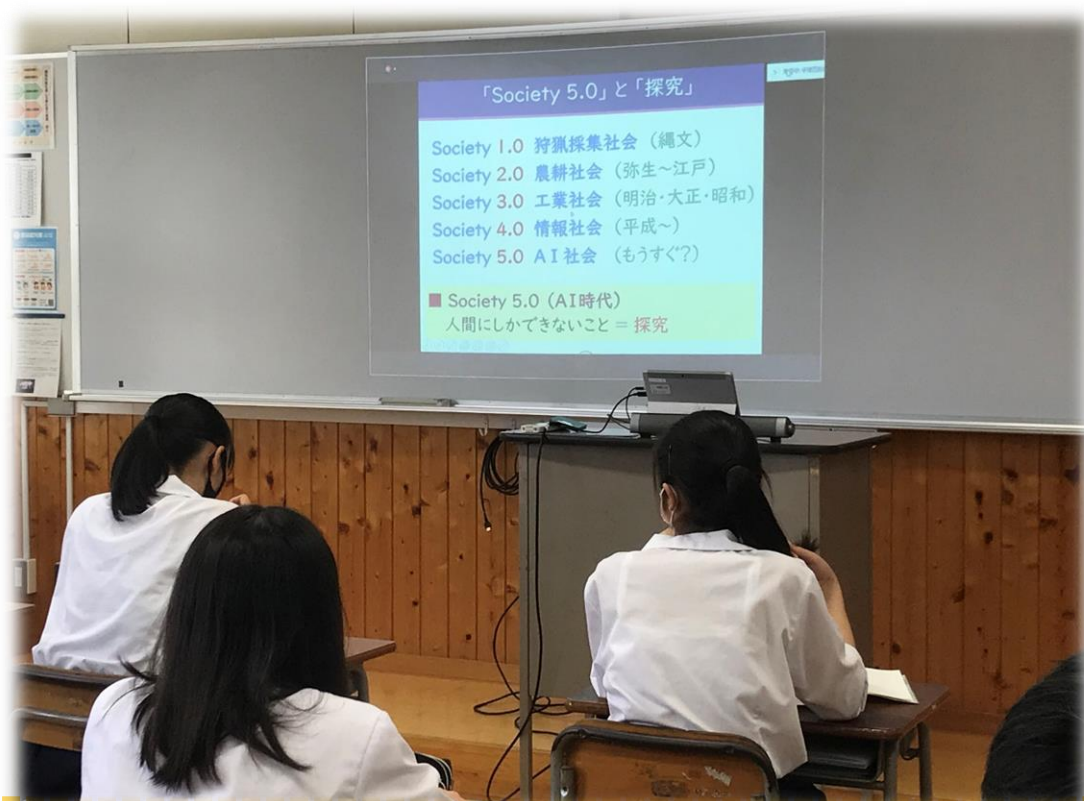
## \* 今回の話を聞いて印象的だったことや感想を書いてください。(一部のみ抜粋)

- ・高校生でも地域におおきなインパクトを与えることができると思った。
- ・同じ高校生なのに地域のことを考えて自分たちで動いていてすごいと思った。
- ・小さいことでも思いついたら発言したり、挑戦する事は大切だなと思ったし、自分にもできるかもしれないと思った。
- ・先輩方の行動力が素晴らしいと思いました。
- ・大正大学と高校生との取り組みが印象的だった。
- ・同じ高校生が地域のためにいろいろな活動をしていることに驚かされた。
- ・自分でも地域を変えられる！！
- ・高校生の活動がこんなにも地域に影響するなんてびっくりした。
- ・地域貢献することによって自分の存在価値を見いだせるということがわかった。
- ・地元である付知の活動も年の近い人たちが身近で行っていることだったので自分のこととして捉えることができました。
- ・同世代で行動力の差を感じた。
- ・あんまり今まで考えたことがなかったからしっかり考えられてよかったです。
- ・地域の特色を生かし、自分達で考案していたので、素晴らしいと思った。
- ・SDGs をやることになって、自分の力じゃそんなにたいしたことはできないと思っていたけど、今回の話を聞いて自分ができることがあることがわかりました。地域をよりよくするために、力になれるように頑張って活動したいと思います。
- ・夢中は努力に勝るといことです。
- ・中津川市でも行われていることは知っていたけど想像よりも本格的で自分にももしかしたら出来るかもしれないと思えた。
- ・児童虐待のニュースを見て動いた高校生の話を聞いて自分もやってみたいと思った。
- ・初めはあまり自分と違う世界みたいなエリートの人達の話かと思っていましたけど同じように考える人もいて自分事だと感じるようになりました。
- ・コロナ禍で中々外に出て活動することは出来ませんが、今のうちに自分の好きなことを極めたいです。
- ・故郷について若者が理解して、考えて何をすれば良いか話し合うことが未来に繋がっていくということがわかりました。
- ・自分は付知出身で付知銀座マルシェにも行ったことがあるけど、それに高校生が関わっていたことに驚いた。
- ・木を焦がしたものが必要になっていることを知りそれをビジネスに変えた企業と林業が印象的だった。
- ・奉納神楽や雪まつりの話で、高校生がこんなことをやりたいと案を出すと大人の人たちが「うちはこれができるよ」と協力してくれたという話が印象的でした。
- ・無理だと思ってもやってみたらできるのでぼくもチャレンジしていきたい。
- ・大学は成長できる人や何を学んできたのかを求めているから探究を通して自分を変えなければならないということ。



## \* 今回の話を聞いて、今の自分に足りていないこと、必要だと思うことは何ですか。

- ・地域のことを自分事として捉えること。
- ・自分の気持ちの発信
- ・地域のことにしてもっと知り、自分なりに考えたりまとめたりする。
- ・もっと地域に貢献をし、自分にできることを考えていきたい。
- ・挑戦しよう!!という気持ちです。
- ・疑問に思うことを調べて行動する力。
- ・人の意思で物事を進めることがあるので、時には、自分の意思でも物事を進める。
- ・相手に上手く説明する力
- ・人任せにしないということ
- ・人に対して興味を持ち、其処での課題を見付ける。「真逆そんなことができるなんて!」と云うような内容の面白いことを考えられるような柔軟な思考を作る。
- ・いろんな人とコミュニケーションをとること。人見知りが多いので直していきたいとおもいました。
- ・もっと自分も関わっているという意識を持って社会に貢献していくこと。
- ・今の時代は多様性が必要なので自分の個性や特技を発揮していきたい。
- ・地域の人とのコミュニケーション
- ・高校生が地域で頑張っているのに自分は地域に貢献出来ていないので、まずは挨拶などの小さなことから始めていきたいです。
- ・目標があるのに行動に移せずそれを達成することが出来ていないと思うので、行動力を身につける必要があると思った。
- ・勉強と部活だけやって地域との関わりがない。
- ・自分たちと同じくらいの年齢の人たちが大人のように動いて、地域のために出きることをしているのが驚きました。自分ができることどんなことでもいいので、ボランティアに参加できるようにしたいです。



浦崎先生へ 生徒にとっても、教員にとってもわかりやすいご説明を頂きありがとうございました。コロナ禍で思うように地域に飛び出し活動することが困難ですが、校内でもできる取り組みを考え、活動に取り入れます。今後ともご指導・ご助言のほどよろしく願いいたします。